

スタンプラリーの実施について

当館では、「志国高知 幕末維新博」に併せて、幕末維新をテーマに企画展・特別展を開催するとともに、岡豊城跡にやぐらを設置します。この台紙に掲載している当館主催の企画展、特別展の観覧と、岡豊城跡のやぐらを見学すると、それぞれ1回につきオリジナルスタンプ1個を押印します。

※各企画展、特別展、やぐらとともに台紙1冊につきスタンプの押印は1回のみです。
 ※各企画展、特別展は、それぞれ会期中のみスタンプを押印します。
 ※台紙はお一人につき1冊ご利用ください。複数の台紙に押印されたスタンプを合算することはできません。

特典内容

- ① スタンプ3個 → もれなく参加賞をプレゼント
- ② スタンプ5個 → 当館の無料入館券や図録、オリジナルグッズなど、豪華な景品が当たるはずれなしの抽選にその場で参加できます。

特典交換期間：平成29年5月27日(土)～平成30年3月31日(土)



高知県立歴史民俗資料館

〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1
 電話 (088) 862-2211

<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/>

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 7月3日(月)、10月4日(水)～10月13日(金)、
 11月27日(月)～12月4日(月)、
 12月27日(水)～1月1日(月) ※このほか臨時休館あり

観覧料
 ◎企画展開催中：大人510円
 ◎通常展のみ開催中：大人460円
 ◎特別展「今を生きる禅文化」開催中：大人当日1,200円(前売1,000円)
 高校生以下、各種手帳所持者とその介護者1名は無料

幕末維新史を知る！
 歴民流
 れきみん
 スタンプ
 ラリー

吉田 山

特典交換確認欄

切り取り線

2

志士幕末を駆ける — 半平太らの遺したもの —



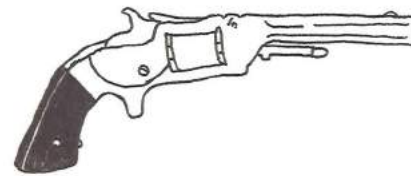
【会期】5月27日(土)～7月2日(日)

時は幕末。黒船が来航し、日本の将来はどうなるのかと国中が不安に包まれる中、武市半平太（たけちはんべいた）を中心に土佐勤王党（とさきんのうとう）が結成されました。しかし、彼らの多くは明治という新しい時代をみることになく、その生涯を終えませんでした。彼らが目指したものは？ 遺された多くの資料から志士が駆けた時代をたどります。人気急上昇中のマンガ「サムライせんせい」とのコラボも！

歴史民俗資料館 幕末維新史を知る！
 れきみんスタンプラリー

5

堺事件 — 150年の時を経て —



【会期】平成30年1月20日(土)～3月25日(日)

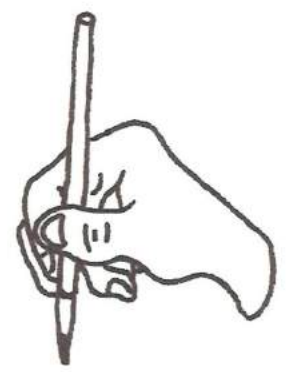
明治元年に大阪府堺市で起きた「堺事件」。この地の警備を担当していた土佐藩兵が、突如上陸してきたフランス軍水兵を銃撃し、切腹に処せられた事件です。本展では、処分された土佐藩士だけでなく、フランス側の犠牲者や幕末の堺の状況など、様々な視点からこの事件を見つめ直し、日本の近代化のなかで犠牲になった人々の声なき声に耳を傾けます。

歴史民俗資料館 幕末維新史を知る！
 れきみんスタンプラリー

⑧

⑥

1 幕末の土佐 — 書跡にみる人物群像 — 〈後期〉



【会期】3月4日(土)～5月10日(水)

書跡(しよせき)とは書や手紙のことで、書き手の人となりや時代の雰囲気をも映し出します。本展では、江戸時代後期に活躍した文人や土佐藩を動かした殿様や重役たちの書跡から、この時代の一端を探ります。また、身分に関係なく土佐の若者たちを導き、精神的な影響を与えた藩の学者と、天皇を敬い外国を撃退する尊王攘夷(そのんとうじょうい)の実現のため命がけで奔走(ほんそう)した志士たちの書跡から、その素顔に迫ります。

歴史故事を詳しく知る！
れきみんスタンプラリー

6 やぐら



【設置予定】平成29年4月～平成31年3月

長宗我部(ちようそかべ)氏の居城であった国史跡(くにしせき)・岡豊城跡(おこうじょうあと)の詰(つめ)に、櫓(やぐら)が登場。また、岡豊城跡など、岡豊山歴史公園を案内するガイドも配置します。
長宗我部氏の目線で高知平野を一望し、歴史のロマンに浸ってみませんか？

歴史故事を詳しく知る！
れきみんスタンプラリー

切り取り線

3 志士 大政奉還を「象」つた男 後藤象二郎

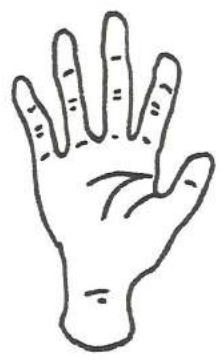


【会期】7月15日(土)～9月18日(月・祝)

「武力で江戸幕府を倒せ！」に対して「いや、平和的に幕府から朝廷へ政治の権利を返すんだ」という考え方が大政奉還です。土佐藩出身の後藤象二郎は、大政奉還を実現するために活躍した人物として知られていますが、みなさんは象二郎のことをどこまでご存知ですか？本展は、彼に影響を与えた吉田東洋や坂本龍馬の資料も展示し、その波乱に満ちた半生を紹介します。

歴史故事を詳しく知る！
れきみんスタンプラリー

4 今を生きる禅文化 — 伝播から維新を越えて —



【会期】10月14日(土)～11月26日(日)

禅というと、座禅などの厳しい修行のイメージが強いかもしれませんが、実は茶の湯や能、水墨画などの日本文化も禅の影響を受けています。禅は、室町時代に全盛期を迎えますが、その裏側には土佐出身の2人の僧の活躍がありました。本展では、四国初公開の国宝・重文を含む名宝の数々で、今、生きるヒントとしても注目を集めている禅と土佐のつながりをひも解きます。

歴史故事を詳しく知る！
れきみんスタンプラリー